

和寒町地域新エネルギービジョン

概要版



近年、エネルギー問題や地球温暖化問題が大きく取り上げられるようになりました。新エネルギーとは太陽光、太陽熱、風力、バイオマス、地熱、雪氷熱などの再生可能なエネルギーのことです。和寒町でも、自然の力や今まで使われていなかった資源を新エネルギーとして有効に使おうという取り組みを進めていきます。

和寒町では地域新エネルギービジョン策定検討委員会を設け、和寒町に自然エネルギーや未利用資源はどれくらいあるのか調査し、新エネルギーの導入に向けた検討を進め、「和寒町地域新エネルギービジョン」を策定しました。

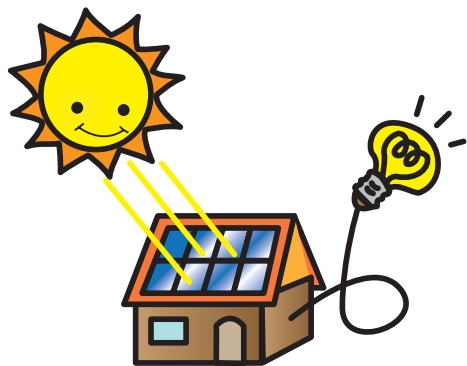
このビジョンでは新エネルギー施策を推進していくための重点プロジェクトを掲げましたので、その要旨を紹介します。



2010年2月

太陽光発電プロジェクト・太陽熱利用プロジェクト

近年、太陽光発電は、様々な施設や住宅などに広く普及してきています。パネル設置にかかる費用は大きいですが、2009年11月から太陽光発電の新たな買取制度がスタートするなど国の補助制度が充実してきています。また、和寒町でも独自に省エネルギー促進支援事業の中で、木質バイオマス燃料ストーブ設置、省エネルギー住宅改修と合わせて太陽光発電システム設置に対する補助制度を取り入れています。



太陽光発電は、和寒町でも公共施設での試験設置や、多くの家庭で太陽光発電パネルが導入されています。

太陽熱利用も、補助熱源として様々な施設へ、または乾燥を必要とする施設への導入が期待されます。

今後もさらなる太陽光発電や太陽光熱利用の促進を図ります。

和寒町 新エネルギーへの取り組み ～重点プロジェクト～

雪氷熱利用プロジェクト



和寒町では、「越冬キャベツ」の生産において雪氷エネルギーが大変有効に利用されています。雪や氷を利用した貯蔵により、新たに高付加価値化できる農作物がないかどうか調査に取り組み、和寒町の基幹産業の振興を目指します。

検討委員会では、チコリー、アスパラ、馬鈴薯、イチゴ、などが話題になりました。また、町内の遊休施設を貯蔵庫として使うことも考えられます。



森林系及び農業系バイオマス利活用プロジェクト

森林系バイオマスとしては、町内の森林の間伐材や林地残材(※1)など。農業系バイオマスとしては農業において多く排出される残さ(※2)、特にすき込むとメタンガスの放出につながってしまう稲わらなどがあります。これらを石油などの化石燃料に代わる燃料として有効に活用しようという取り組みです。



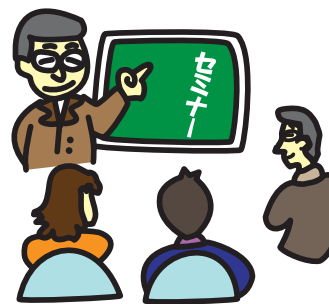
これらバイオマスの利活用は、和寒町の適切な森林管理、町内の雇用の創出、地域振興など、導入にともなった大きな波及効果が期待できます。

※1…木の根元や先のほう、枝など、伐採したときに搬出されずに森に残される部分。

※2…農地や農業施設で排出される、例えば稲わらやもみ殻、豆のさややつるなど、野菜を含む農作物の食用にならない部分。



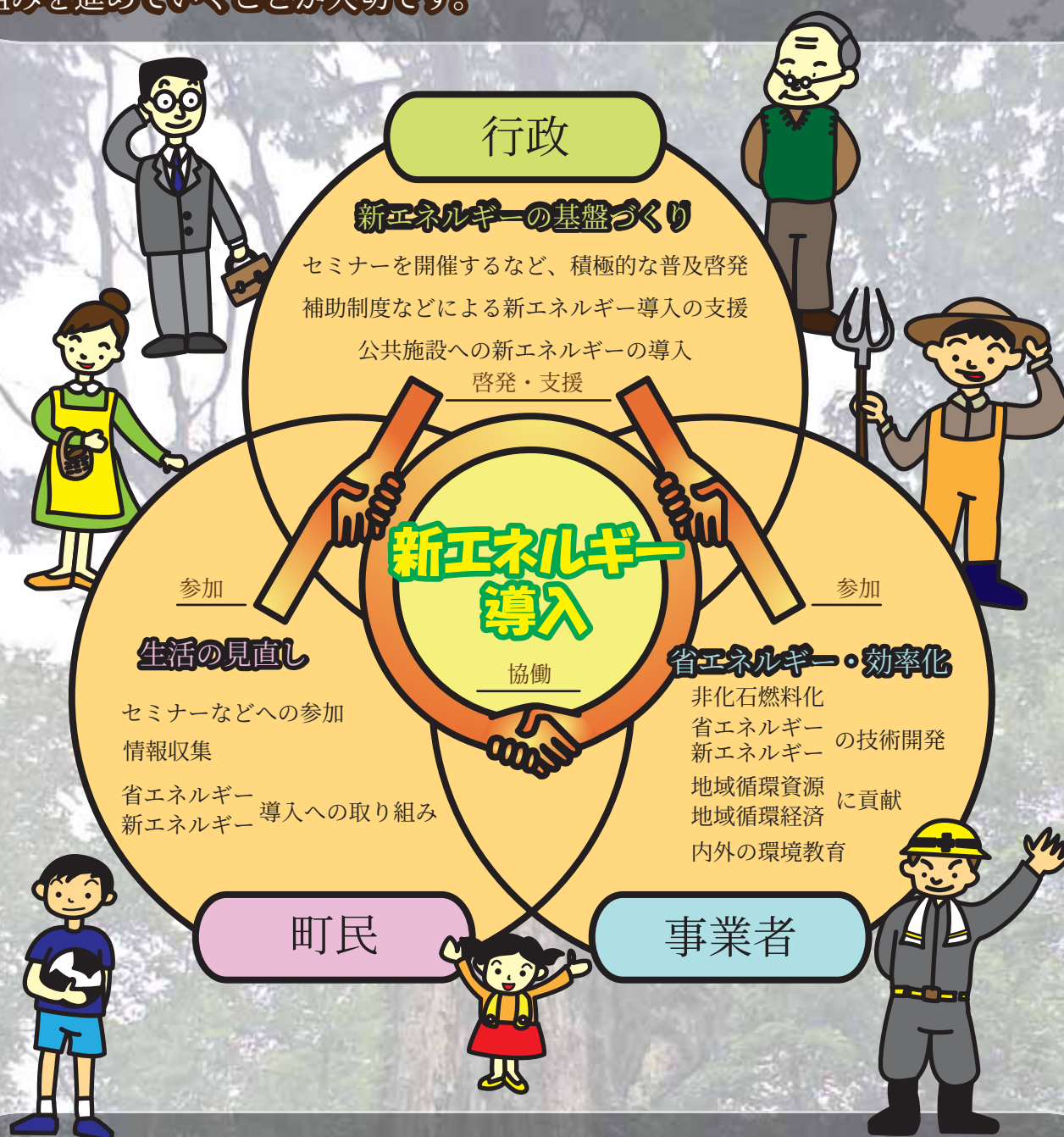
新エネルギー普及啓発プロジェクト



これらのプロジェクトは、町民の生活と大きな関わりがあります。

学習会やセミナーなどを開催し、新エネルギー導入のために必要な情報を提供します。

このような新エネルギービジョンを推進していくためには、行政・町民・事業者がそれぞれ主体的に、連携、協働し、時には一体となって、和寒町の特性に合う取り組みを進めていくことが大切です。



わが国では、CO2などの温室効果ガスの排出量を2020年までに1990年比25%削減するという目標が国際的にも表明されました。

地球温暖化防止のためには、まず現在の大量消費型のライフスタイルを見直す必要があります。大量生産・大量消費・大量廃棄型の現在の生活を見直し、その上で必要なエネルギーを化石燃料から新エネルギーに変えていくことが求められます。

発行 和寒町

〒098-0192 上川郡和寒町字西町120番地

TEL 0165-32-2423(産業振興課) FAX 0165-32-4238

編集 産業振興課 畜産林政係

※本調査は、独立行政法人新エネルギー産業技術総合開発機構の補助により実施しました。